

令和6年3月4日

国土交通省関東地方整備局北首都国道事務所

さいたま市建設局土木部道路環境課

戸田市都市整備部都市交通課

第2回生活道路交通安全対策ワークショップを開催しました

～さいたま市と戸田市にまたがる「内谷・美女木地区」での生活道路対策の推進～

歩行者の安全性確保に向けた生活道路対策を検討することを目的として、昨年度に生活道路交通安全対策ワークショップを発足しました。第2回ワークショップでは、地域の皆様と一緒に埼玉県さいたま市と、戸田市にまたがる「内谷・美女木地区」の課題、対策案の具体化を行うとともに、ランプや狭さく（きょうさく）といった物理的デバイスの導入に向けた実証実験の実施について討議しました。

1. 日時：令和6年2月1日（木） 13時30分～16時10分
2. 場所：内谷中学校 3F 第2会議室
（埼玉県さいたま市南区内谷6丁目10-1）
3. 議題：（1）ワークショップ資料の説明
（2）グループ討議

【内谷・美女木地区内の対策案および物理的デバイスの実証実験の提案】

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ、さいたま市政記者クラブ、川口記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局北首都国道事務所

電話：048-942-4041（代表） FAX：048-942-8205

・副所長 宇津木 和弘（うつき かずひろ）（内線：205）

・管理課長 横田 昭人（よこた あきと）（内線：431）

さいたま市 建設局 土木部

電話：048-829-1490 FAX：048-829-1988

・道路環境課 課長 小峰 喜樹（こみね よしき）

戸田市 都市整備部

電話：048-441-1800（代表） FAX：048-433-2200

・都市交通課 課長 小原 央（おばら ひさし）（内線：328）

第2回生活道路交通安全対策ワークショップを開催しました

1. 第2回生活道路交通安全対策ワークショップ

地域の皆様と関係機関で構成されるワークショップメンバーにて、第2回生活道路交通安全対策ワークショップを実施しました。ワークショップでは、「内谷・美女木地区」内の課題を踏まえた対策案の具体化、ハンパや狭さくといった物理的デバイスの導入に向けた実証実験について討議しました。



ワークショップの様子



各グループの検討内容をグループ長(埼玉大学学生)が発表

ワークショップメンバー

地域住民の皆様(自治会)、小・中学校、有識者(埼玉大学)、交通管理者(埼玉県警察)道路管理者(さいたま市・戸田市)、国土交通省

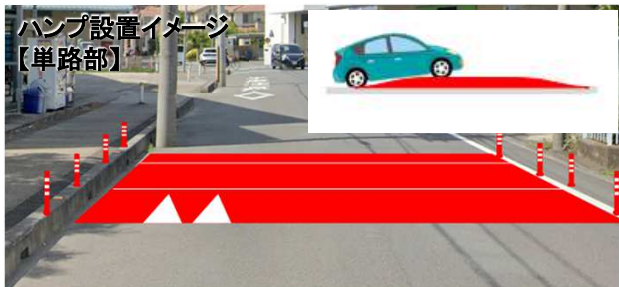
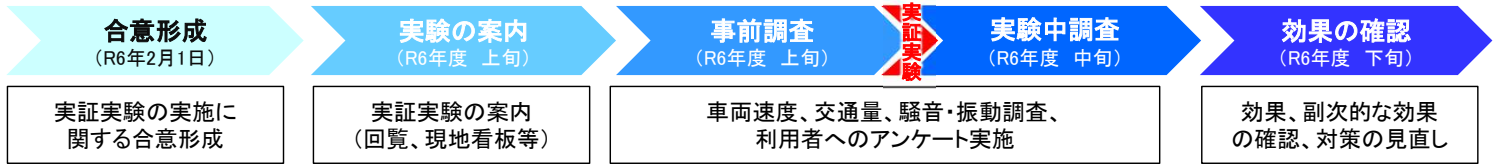
2. 内谷・美女木地区の課題と対策方針

内谷・美女木地区の交通課題を緩和、解決するための対策案について討議しました。課題に応じて、ソフト的手法とハード的手法を効果的に組合せながら、対策の具体化を図りました。

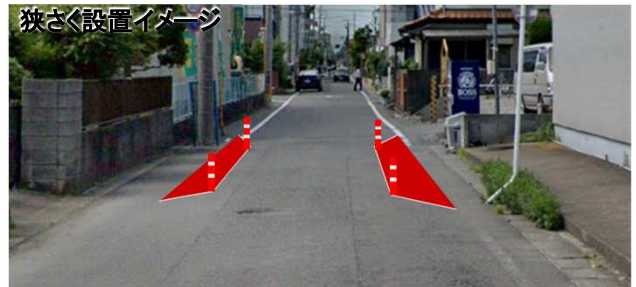


3. 実証実験の提案

ハンプや狭さを一時的に設置する実証実験により、車両の速度抑制や抜け道利用の抑制に対する効果、地域住民の居住環境への影響等を調査することを提案し、了承されました。今後は、地域住民の皆様、沿線を利用される方へ周知を図った上で、実証実験を行います。その後、対策効果を確認しながら対策の見直しを実施する予定です。



ハンプ
路面を滑らかに盛り上げ、30km/h以上の速度で走行する車両の運転者に不快感を与える構造物



狭さく
車道の通行部分を局所的に狭くし、車両の速度を抑制する構造物

4 今後の予定

今後、第2回ワークショップで頂いた意見をもとに、対策方針の見直し、実証実験(仮設ハンプや狭さくの設置)の実実施スケジュールについて検討していきます。引き続き、地域の皆様と討議を交えながら詳細な内容について調整していきます。